

くまもと県北病院に通院中または過去に通院・入院された患者さままたはご家族の方へ当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2023年 11月 6日

「乱視矯正眼内レンズを挿入した白内障手術後の乱視経過」に関する研究を実施しています。

くまもと県北病院倫理委員会の審査による承認を得て、上記研究を実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	202313
課題名	トーリックIOLを挿入した白内障手術後の乱視経過に関する研究
所属（診療科等）	リハビリテーション技術部（眼科外来）
研究責任者	谷吉オリエ
研究実施期間	2023/11～2024/1
研究の意義・目的	近年の白内障手術は、手術後に良好な裸眼視力が得られるように乱視矯正眼内レンズを使用する機会が増えています。しかし、手術直後は乱視を含む屈折変化が生じやすいため、矯正効果の判定が難しいことがあります。屈折は視生活で見やすい距離に関わるため、術後の満足度にも直結します。そこで、過去に当院で乱視矯正眼内レンズを挿入した白内障術後患者の屈折を解析し、レンズ選択の最適化をめざすとともに、根拠に基づく適切な治療につなげたいと考えています。
対象となる方	2023年1月から10月に当院で行った白内障手術のうちトーリックIOLを挿入した方
利用する診療記録・検体	年齢、性別、左右眼、視力、屈折、角膜曲率、眼軸、トーリックIOLモデル
研究方法	後ろ向き観察研究
問合せ先	くまもと県北病院 眼科 谷吉オリエ（0968-73-5000：内線142）

- 診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。
- 当院外へお名前や個人情報がでることはありません。
- 必要な情報のみを集計します。
研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
- この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了承いただけない場合、またご不明な点については上記問合せ先までご連絡くださいますようお願いいたします。
- 研究不参加を申し出られた場合でも、何ら不利益を受けることはありません。
ただし、同意取り消しの申し出をいただいていた時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や試料や情報が匿名化されて個人情報が全く特定できない場合などには結果を廃棄できないことがあり、引き続き使用させていただくことがあります。